

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月15日			記入者	内線 3811
部 名	消防本部	課 名	防災課	課長名	大谷 喜郎
事務事業名	防災資機材整備事業				
予算上の事務事業名	防災資機材整備費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			23120	
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政 策 名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第1節 災害に強いまちづくり				事業開始年度
施 策 名	第2施策 防災対策の強化				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
災害対策基本法、相模原市地域防災計画					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	相模原市地域防災計画		市域並びに市民の安全を災害から確保するため、災害に強いまちづくりの実現を目指し、防災対策に必要な施策等を計画したものの。		
計画年次	昭和39	年度～		年度	
4 事業形態の区分 対策 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
災害時における、被災者用の食料、生活資材及び防災活動用機材の備蓄及び機器等メンテナンス。 食料備蓄については避難所収容者約35,000人の3日分(9食分)にあたる315,000食を平成15年度から概ね5か年で100%充足することを目標とする。			被災者		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
<ul style="list-style-type: none"> ・乾パン、アルファ米等食料 ・ビニールシート、テント、かまど、両手鍋等生活資材 ・携帯発電機、投光器セット、ラジオ付ライト等照明機材 上記物品を購入し、各倉庫へ2月、3月に配置 ・備蓄品等維持管理(5月中旬から7月中旬)井戸保守点検等委託(8月) 					
6 関連・類似事業や他市の状況					
他自治体も同様な目的で実施している。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事 業 費	29,928	25,777	24,559	22,962	22,962
一般財源	23,928	13,115	17,559	17,962	17,962
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	6,000	12,662	7,000	5,000	5,000
人件費の合計	682	657	661	661	661
事業コスト合計(a)	30,610	26,434	25,220	23,623	23,623
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	食糧備蓄事業			対象名称(単位)	各一般倉庫及び避難所倉庫
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	3,846	10,308	9,628	29,702	29,702
対象数	28	13	15	7	7
単位あたり経費(円)	137,357	792,923	641,867	4,243,143	4,243,143
前年度比		5.77	0.81	6.61	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	食料備蓄目標数		指標式と指標の説明	延食料備蓄数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	223,116.0	265274.0		
目標	0.0	315000.0	315000.0	315,000.0	315,000.0
目標達成度		0.71	0.84		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	食料備蓄購入予定数		指標式と指標の説明	$(\text{購入数}) \div (\text{購入予定数}) \times 100$	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	187634.0	223116.0	257536.0		
目標	187634.0	223116.0	257536.0	287238.0	297740.0
目標達成度	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		被害想定に応じた備蓄数を確保する必要がある。又津久井地域との合併に伴い、被害想定の見直しを行い新たな備蓄目標を設定する必要がある。 市内流通業者との協定による食料備蓄についても、検討する必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 地震等の自然災害発生時における個人の食糧備蓄を始めとした防災意識の普及を図る必要がある。			14 課題として認識されたこと 備蓄食料等の賞味期限を考慮した計画的な購入を図るなどの備蓄目標数を常に確保する必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		食料等の備蓄体制を総合的に検討する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			